

骨形態計測専用画像計測システム Histometry RT CAMERA



顕微鏡に接続したデジタルカメラより取り込まれた画像をディスプレイに表示して、それを見ながら計測できますので、ディスカッションしながらの計測が出来ます。

骨の形態計測が早く、なおかつ簡単に行える装置、それが骨形態計測専用システム“Histometry RT CAMERA”です。

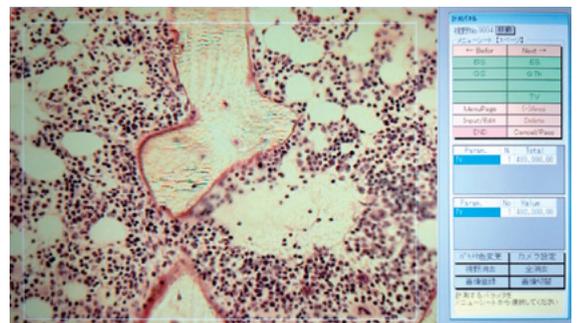
特徴

- ① 表示画像はリアルタイム画像なので、計測途中にフォーカス調整や、自然光—蛍光の切替えが自由に行えます。
- ② 顕微鏡を覗くイメージで計測出来ます。
- ③ 大量な計測データの保存、管理及び検索が出来ます。
- ④ 修正、訂正が容易。

計測方法

計測したいパラメータを選択し、付属のペンでディスプレイ上に表示された画像をトレースし、ペンを画面から放すと計測終了。

- ① 標本の属性を入力する。
- ② 計測するパラメータを画面上のメニューシートより選択する。
- ③ 画面に表示された画像のパラメータ該当部をトレースする。
- ④ 1視野において該当パラメータを計測終了したらメニューシートのNEXTで次視野の計測に入る。
- ⑤ 全視野計測を終了したら、メニューシートのENDで計測終了、2次パラメータ計算に入る。
- ⑥ 検索項目によりデータファイル一覧よりデータ検索、及びEXCELへのデータ移行が出来る。





システム構成

コンピュータ (Windowsマシン)
 液晶ペンタブレット 15.6インチ
 顕微鏡用デジタルカメラ
 骨形態計測専用プログラム
 落射蛍光顕微鏡 (本システムには含まれません)

パラメーター項目

1次パラメーター (直接計測)

◎海綿骨用

BV (骨量) BS (骨面) OS (類骨面) ES (吸収面) QS (静止面) Ob.S (骨芽細胞面)
 Ob.S (破骨細胞面) Ob.N (骨芽細胞数) Oc.N (破骨細胞数) dLS (二重標識面)
 sLS (一重標識面) L.Th (二重標識幅) W.Th (骨量単位壁幅) 他

◎皮質骨用

BV (骨量) BS (骨面) OS (類骨面) ES (吸収面) QS (静止面) Pm.O (類骨層面)
 Pm.E (吸収腔面) O.Wi (類骨層幅) N.Sm (類骨層数) N.E (吸収腔数) Pm.dL (二重標識面)
 Pm.sL (一重標識面) L.Wi (二重標識幅) Ct.Ar (皮質域) Ma.Ar (髓空域)
 W.Wi (骨量単位壁幅) 他

2次パラメーター (計算結果)

◎海綿骨用

BV/TV (骨量) OV/TV (類骨量) OV/TV (類骨量) Tb.Th (骨梁幅) OS/BS (類骨面)
 ES/BS (吸収面) MAR (骨石灰加速度) MS/OS (骨石灰化面) LS/OS (標識面)
 Aj.Ar (補正石灰加速度) Omt (類骨成熟時間) Mlt (骨石灰化遅延時間)
 Sg (基本細胞単位持続時間) LS/BS (標識面) MS/BS (骨石灰化面) BRs.R (骨吸収速度) 他

◎皮質骨用

OS/BS (類骨面) ES/BS (吸収面) dLS/BS (二重標識面) sLS/BS (一重標識面)
 N.Sm/Ct.Ar (類骨層数) N.E/Ct.Ar (吸収腔数) O.Pm/N.Sm (平均類骨層面)
 E.Pm/N.E (平均吸収腔面) N.L/Ct.Ar (単位当りの標識数) MAR (骨石灰加速度)
 Aj.Ar (補正石灰加速度) O.Wi/MAR (石灰化ずれ時間) O.Wi/ Aj.Ar (補正石灰化ずれ時間) 他

CSS 株式会社 システムサプライ
SYSTEM SUPPLY

〒396-0014 長野県伊那市狐島4289-5
 TEL 0265-78-6882 FAX 0265-78-7864